

# Therapy and care

# KIHARA STYLE

VOL. 27

## 中国で発生した新型肺炎の集団感染について

中華人民共和国湖北省武漢市における非定型肺炎の集団発生が話題になっています。現地の海鮮市場から流行し、原因は新型コロナウイルスと同定されています。神奈川県でも令和2年1月14日に武漢市に滞在歴がある30歳代の肺炎患者発生が報告され、翌日に国立感染症研究所で新型コロナウイルスが検出されました。

コロナウイルスとは乳幼児～高齢者まで広く流行感染しやすいウイルスで、主に冬場の風邪の原因となるウイルスです。肺炎の原因となることは通常なく、一時的に発熱や咽頭痛や咳の症状が数日続いて自然治癒することがほとんどです。今回の新型ウイルスがもし高率に肺炎を発症するようなら、かなり進化したやっかいなウイルスです。顕微鏡で観察されるコロナウイルスは、直径約100nmの球形で、表面には突起が見られ、形態が王冠；crownに似ていることからギリシャ語で王冠を意味するcoronaという名前がつけられました。

ウイルスはインフルエンザウイルスやエイズウイルスなどの特殊なウイルスを除き、治療薬がほとんどありません。よく病院で処方される抗菌薬(抗生剤/抗生物質)は細菌感染の治療薬で、ウイルス感染には無効です。

ウイルスは細菌よりもさらに小型で、体内のあらゆる部位に浸潤し増殖するため、治療薬を開発することがとても困難であるためです。よく「風邪の特効薬を開発できたらノーベル賞」と言われるのはこのためです。

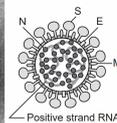
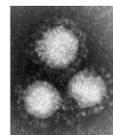
コロナウイルスも現時点では有効な治療薬はありませんし、予防のためのワクチンもありません。

インフルエンザもそうですが、ウイルスは人の流れに乗って流行していきますので、日本で流行することは時間の問題かと思えます。厚労省や自治体には早期の対策立案を期待したいと思います。

厚労省からの現時点での国民向けのメッセージは、『咳エチケット(マスクの着用)や手洗い等、通常の感染対策をしっかりと行ってください』という、頼りない通達のみです。

ワクチンと治療薬の開発に大至急資金と支援をすべきではないでしょうか。

コロナウイルス顕微鏡写真(国立感染症研究所HPより)



内科 原口春毅

**今だけお得!**

**歯科にて ヒアルロン酸・ボトックス キャンペーン開始しました!**

ヒアルロン酸は気になるシワやほうれい線を改善したい! **美容整形外科は敷居が高い方に、おススメ!**

ボツリヌストキシン(ボトックス)は、歯ぎしりが強くマウスピースをしているけど、寝ている間に外してしまう、歯ぎしりや、くいしばりによる頭痛・肩こり・歯の摩耗がひどいのを何とかしたい!

というお悩みに対応出来ます。

施術をご希望の方は、歯科までご予約お願い致します。(ご相談は随時承ります)



「試してみたいけど料金がちょっと…」という方のために、

お試し期間として**3月末まで**ヒアルロン酸、ボツリヌストキシン共に**税込¥22,000**で提供させていただきます。

ぜひこの機会にお試しいただき、よりハイクオリティな治療にご満足していただきたいと思えます。

\*4月以降は、正規価格となり、以下の通りとなります。

ヒアルロン酸 税抜き¥37,000 (税込¥40,700)

ボツリヌストキシン 税抜き¥27,000 (税込¥29,700)



## 自宅に来てくれる歯医者さんがいます！ 其の2

訪問歯科とは実際に、どのような事をするのかというご質問がありました。

訪問歯科なので歯科治療のご依頼が多いです。

治療自体は、皆様が院内で受けておられる治療内容とあまり変わりありません。

治療内容で多いのが、入れ歯にかかわる治療です。

全ての治療のうち、入れ歯にかかわる治療が8割以上を占めていると思います。

また、ご宅での治療なので、治療する場所や、それに伴う機材の設置場所について考える必要があります。

主に治療を行う場所としては介護ベッドや、ヘッドレスト付きの椅子を使う事が多いです。

あとはソファーに深く腰掛けて頂き、治療する事もあります。

この姿勢のほうが、患者さまの頭や首が安定するため、治療による疲れが少ないためです。

機材の設置場所は、歯科医院と同じように、お水を必要とする機会がありますので、台所や洗面所をお借り

する事が多く、機材の大半はバッテリー駆動のため、電源（コンセント）をお借りすることは少ないです。

どうしても機材の設置場所が確保出来ない時などは、先に訪問車で色々と下準備を行い、

ご自宅での治療に臨む事もあります。

しかし、どうしても機材の設置場所が確保できない時もありました。

試行錯誤の結果、駐車場で訪問車のトランクルームを使用して入れ歯の修理をし、

その後治療の続きをご自宅で治行った事もあります。

このように当院では、どこでも治療ができるよう心がけております。

また訪問歯科では、「食べ物がかうまく食べられなくなってしまった」というご依頼を頂く事もあります。

これについてはまた次号でお話させていただきます。



訪問歯科医師 伊藤吉哉

## 「ウォーキングのすすめ」

新杉田医院院長 大藤裕祐

私がウォーキングを始めたのは40代の頃ですから、かれこれ20年程続けていることになります。

きっかけは、小石につまずいて、踏みとどまらずに転んだり、発車間際の電車に駆け込もうとしてぎりぎり間に合わず、ばつの悪い思いをしたり、そういった些細な事が重なったことでした。

ウォーキングの目的（効果）は、大きく2つに分けることができます。

ひとつめは「ダイエット」を目的にしたものです。

これは、歩くスピードや時間、フォームなどあれこれ制約が多く、しかも節食を併用しないと、なかなか効果が出ないので、長続きしない事が多いようです。

2つ目のウォーキングの効果は、心身の健康の維持・改善です。つまり、心肺機能の強化に加えて、下枝の筋肉を使うことにより血流が改善され、高血圧や動脈硬化を防ぎます。その他にも（詳細は省きますが）骨密度の強化、肝機能の改善、糖尿病の改善など、様々な効果が期待できます。なかでも、最も重要で大きな効果は、

「セロトニン」と呼ばれる神経伝達物質の分泌を促進することにより、精神的ストレスの緩和（リラックス効果）が得られる事ではないでしょうか？ 歩行や咀嚼、意識的な呼吸など、リズムカルな運動はセロトニンの分泌を

促すと言われており、また日光を浴びることで、さらにセロトニンの分泌が促進されます。

なので、天気の良い日に15分程度の散歩をするだけでも、その効果は大いに期待できます。

ウォーキングは決して無理をせず、体調に合わせて「楽しむ」ように行うことが長続きの秘訣です。

これだけ良い事づくめの「ウォーキング」ですから、「しないという選択肢は、ナイヤロ」ですよ？

